

令和 6 年度定例会 12 月会議開会挨拶（令和 6 年 12 月 17 日）

令和 6 年度定例会 12 月会議の開会にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

10 月 30 日、議会基本条例諮問会議から本年度の答申を受けました。

基本条例見直しの行動計画推進については、適正に行われ、今後の方向性を「現状維持」とした内容に疑義がないとし、議会評価については適正であるが、議会評価の仕組みや専門用語などを町民に解りやすい表現で伝えるよう望むとの内容でありました。

次期改選期に向けた課題であります、「議員定数、議員の成り手不足、議会改革の見直し」については、特別委員会を設置し検討することとなっておりますが、諮問会議で話題となりました議員の成り手対策としての「議員の学校」については、来年 2 月開催を予定しております西部 4 町議員協議会総会の際に、栗山町議会斎藤義崇副議長を招聘しての研修を計画しております。

11 月 13 日開催の第 68 回町村議会議長全国大会はスローガンとして、

◎ 地方創生の更なる推進、分権型社会の実現

◎ 大規模災害からの復旧・復興、原発事故対応、防災・減災対策の強化等を掲げ、令和 7 年度予算編成にあたって、具体的な 28 件の要望を決議し、

「議会への多様な人材参画・議会の機能強化」については、

◎ 議員の成り手対策の支援

◎ 政治分野の男女協働参画の推進

◎ 主権者教育の推進

◎ 議員報酬の改善等 16 項目の具体的実現を目指し決議をしております。

長期的な人口減少、東京一極集中による過疎・少子高齢化、頻発する自然災害、諸物価の高騰等が深刻な問題となっており、自主財源が乏しい中で、増大する役割に迅速・的確に対応しなければならない厳しい状況下で、諸課題解決に向け、議会の機能強化、多様な人材の参画を目指す環境整備に向けた強力な取り組み等も必要であるとし、地方議会人が一致結束し、果敢に行動していくと宣言しております。

福島町議会としても、宣言・決議の主旨をしっかり受け止め、厳しい状況を勘案し、より一層研鑽に励み、町民の負託に応え、活発な議会活動を推進しなければなりません。

師走となり、寒さも一段と厳しくなってきました。出席者各位には、お体ご自愛の上、本 12 月会議もまた、活発な討議が展開されます事を期待し、議事運営に協力をいただきますよう、お願い申し上げ、開会の挨拶といたします。